



# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2020年(令和2年)9月15日号 No.1836

## 目次

■ 2020年ロシア統一地方選挙結果速報 .....	中馬 瑞貴 1
■ 新型コロナウイルス感染拡大に関するロシアの対応 .....	ROTOBOモスクワ事務所 8
■ 統計速報 .....	20
2020年1～8月のロシアの乗用車販売動向 / 20	
■ キーパーソン .....	21
カザフスタン新デジタル発展大臣就任 / 21	
■ トピックス .....	21
JBIC、ロシアで完成車物流に融資 / 21	
JAL、東京～モスクワ臨時便運航予定 / 22	
NIS諸国における新型コロナウイルス関連のニュース / 22	

## 2020年ロシア統一地方選挙結果速報

ロシアNIS経済研究所 研究員  
中馬 瑞貴

### はじめに

2020年9月13日、サンクトペテルブルグ市とカバルダ・バルカル共和国を除くすべての連邦構成主体(=地域)で統一地方選挙が行われた。特に18地域で首長の直接選挙、2地域で首長の間接選挙、11地域で議会選挙、22地域の行政中心都市で市議会選挙が行われたほか、約9,000の地方自治体で行政府長官や議会の選挙、さらに4地域で連邦下院の補欠選挙も行われた。

新型コロナウイルスの影響で一時は延期も検討されていた今回の統一地方選挙だが、ヤロスラヴリ州やクルスク州などで電子投票を活用したり、41地域で2日前から投票所を開設したりと、新たな仕組みを取り入れながらの実施となった。

9月14日時点の暫定結果によると、全20地域で現職首長もしくは首長代行が当選を果たし、構成主体議会では統一ロシアが第一党を獲得したと伝えられている。

本稿では、今回の統一地方選挙について、各レベルの選挙結果とともに、それに対するロシアの政治家、政治評論家らの評価をお伝えする。ちなみに、現地時間9月15日以降に公表される最終結果を踏まえた詳細については、別稿にまとめることとしたい。なお、ロシアによるウクライナ領クリミアの併合は国際的に承認されていないが、以下では参考までにクリミア共和国およびセヴァストポリ市の選挙結果についても掲載している。しかし当然のことながら、ロシアによるクリミア併合を是認するものではない。